

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

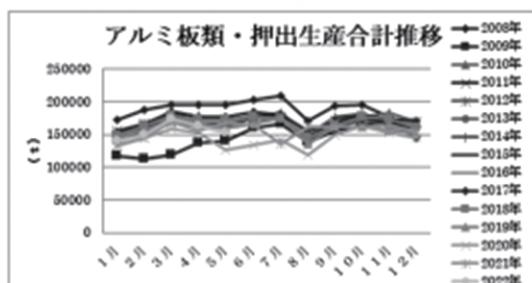
橋本 健一郎



6月のアルミ概況及び7月の見通し(3)

【アルミ圧延・押出品生産数】

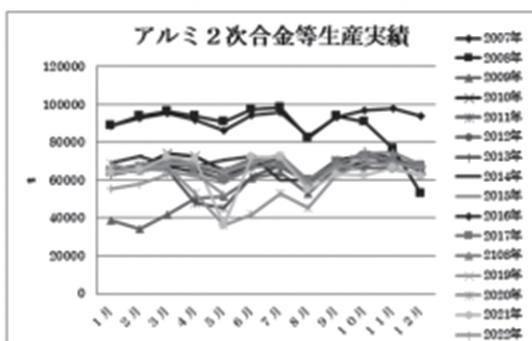
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.2%の15万3,141tで2カ月連続のマイナス。



出典 日本アルミニウム協会

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比-12.4%の5万2,564tで9カ月連続のマイナス。出荷は-13.4%の5万2,312tで9か月連続のマイナス。



出典 日本アルミニウム合金協会

■国内概況まとめ

【自動車】

【自動車生産】

生産動態統計によると5月の自動車生産台数は前年比-16%の39万6,433台、輸出は前年同月比-24.5%の18万7,391台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると6月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-15.8%の19万7,530台。内訳は乗用車が-14.3%、貨物が-23.5%、バスは-50%。

【住宅着工戸数】

5月の新設住宅着工は、貸家は増加したが、持家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比43%の減少となった。

また、季節調整済年率換算値では前月比6.5%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は67,193戸。前年同月比4.3%減、15か月ぶりの減少。

○新設住宅着工床面積は5,564千m²。前年同月比4.9%減、14か月ぶりの減少。

○季節調整済年率換算値では828千戸。前月比6.5%減、2か月連続の減少。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.2%の15万3,141tで2カ月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比-12.4%の5万2,564tで9カ月連続マイナス。

出荷は-13.4%の5万2,312tで9か月連続マイナス。

いまだ回復の道筋の見えない自動車生産についてアルミニウム需要も足踏みが続いている。

【輸出】

新地金は-31%の126t、2次合金は+378%の1,718t、スクラップは-9.6%の2万6,593t、アルミ缶は-32%の6,664t。

【輸入】

新地金は+7.1%の12万4,829t、二次合金は-27%の8万9,968t、スクラップは+102.3%の605t、合金スクラップは+133.7%の8,227t。

【見通し】

【自動車】

5月の自動車生産が-16%。6月国内販売台数が前年比-16%で6カ月連続生産、販売共に大幅減少。前月に引き上海のロックダウンによる半導体以外も中国からの部品供給の遅れとのことで、先日一部解除されたため挽回生産に期待。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は欧米の金融引き締め策からLME価格が2,800-2,400ドルと急落したが自動車生産減から売りにくく、さりとて入荷も少なそう。

需要面に関しては上海のロックダウン解除の時期が不透明なことからスソ物に関しては需給は緩みそう。上物に関しては巣籠り需要一般から需給が緩みそう。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。
①米欧の金融政策
②中国の動向【ロックダウン再開中】

①に関しては、米国に続いて英国でも利上げが決定となり、利上げの幅が米国を上回る1.25%だったことやFRB議長やECB総裁のタカ派発言からまだ利上げスタンスは続く。

②に関しては、6月1日上海のロックダウンが解除されたもの一部で再開するなど先行き不透明。また、季節はずれのインフルが流行するなどロックダウンは続きそう。

これらを踏まえた7月のアルミ価格は2,100-2,400ドル(セツル)との予想。

ドル円値は133円~139円(TTM)台を予測。スクラップ購買価格に関しては-5円~-10円程度と予想している。

(「6月のアルミ概況及び7月の見通し」おわり)